

2015年度学校関係者評価中間報告

2015年度の学校自己評価中間報告に基づき、学校関係者評価を行いましたので、ご報告いたします。

1：委員会構成

後援会代表	2名
愛友会代表	2名
教育会代表	2名
本校関係者	4名

2：委員会開催日時

平成27年12月19日（土） 午後11時～12時30分

8名参加（教育会代表1名・後援会代表1名欠席）

3：評価・提言

<4>に対し

小学校は家庭との連絡が密なので、それと比較して十分でないと感じる。どういう点が問題で評価が下がったのかを教員と意見交換をするべきではないか。

<13>に対し

特に地震対応の避難訓練などを、中高だけでなく、学院全体で連携をより強めて欲しい。

<14>に対し

地域交流の状況をホームページに載せてもらえば、参加することができる。

<16>に対し

どういう点が不足しているかをしっかりと把握するのが必要ではないか。

<20>に対し

人権教育の時間を落ち着いた中で学ぶ時間がもう少し多くあった方がよいのではないか。

<37>に対し

読書の時間を設けた方がいいのではないか。本に親しむとための時間を確保するために図書館の開館時間の延長はできないか。図書館利用率の向上のための方策を図書館員の意見や他校を参考にしているかどうか。

<47>に対し

外部講師を招いた講演会や研修会の実施をもっと多くした方がいいのではないか。そういう機会が気づきになり、今までより広い視野をもつことができる。

<他>

- ◎ クラブ活動の予定や結果をタイムリーにホームページに載せてほしい。
- ◎ 自転車の事故などの対策は十分であるか。→法律の改正にともない警察にも来てもらい講演を行っている。また新入生の自転車通学者には保険の加入を義務付けしている。